

〔資料〕

医師・歯科医師・薬剤師統計 東京都集計結果報告(令和6年)の概要

1 医師

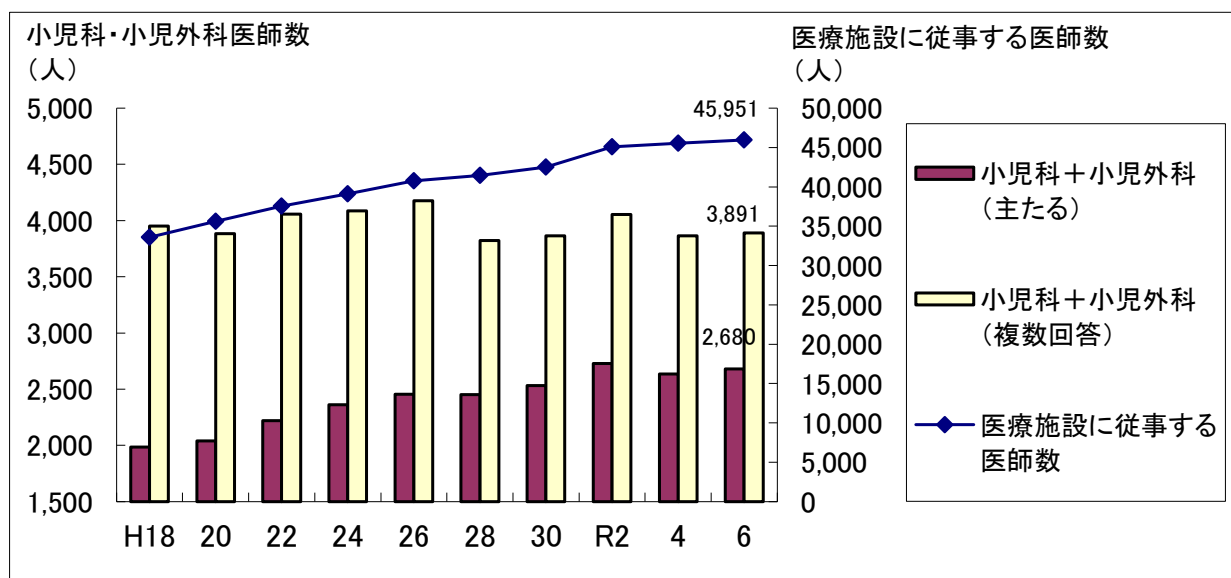
東京都の届出医師数は 49,166 人で、令和 4 年 12 月統計（以下「前回」という。）に比べて 588 人（1.2%）増加した。このうち、医療施設（病院・診療所）に従事する医師数は 45,951 人で、前回より 389 人（0.9%）増加した（本文「Ⅱ 結果の概要」表 1）。

小児科と小児外科医師数合計(主たる)は 1.7%、複数回答では 0.7%増加

主として小児科と小児外科に従事する医師数の合計は 2,680 人で、前回より 46 人（1.7%）増加した。

また、2 つ以上の診療科に従事している場合の重複計上による小児科と小児外科に従事する医師数の合計は 3,891 人で、前回より 26 人（0.7%）増加した（図 1、本文「Ⅲ統計表」第 12 表、第 13 表）。

図 1 医療施設に従事する医師数及び小児科・小児外科医師数の年次推移



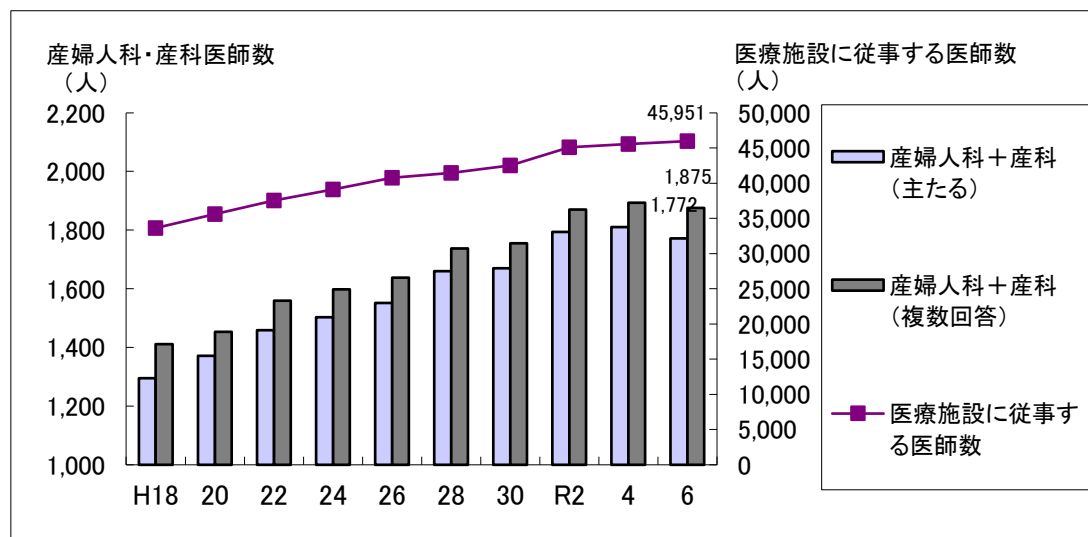
産婦人科と産科医師数合計(主たる)は 2.1%、複数回答では 1.0%減少

主として産婦人科と産科に従事する医師数の合計は 1,772 人で、前回より 38 人（2.1%）減少した。

また、2 つ以上の診療科に従事している場合の重複計上による産婦人科と産

科に従事する医師数の合計は1,875人で、前回より18人(1.0%)減少した(図2、本文「Ⅲ統計表」第12表、第13表)。

図2 医療施設に従事する医師数及び産婦人科・産科医師数の年次推移



医師の約6割が病院の従事者

主に従事している施設の種別に見ると、「病院の従事者」は28,012人(医師全体の57.0%)、「診療所の従事者」は17,939人(同36.5%)で、医療施設に従事する医師は合わせて45,951人(同93.5%)となっている。

そのうち、「病院の従事者」の内訳をみると、「病院(医育機関*附属の病院を除く)の勤務者」が15,107人(同30.7%)で最も多く、次いで「医育機関附属の病院の勤務者」12,594人(同25.6%)である。(本文「Ⅱ結果の概要」表1、表2)

※ 医育機関

「学校教育法」において、医学又は歯学の教育を行うことに付随して設けられた病院及び分院をいい、大学研究附属病院も含む。

2 歯科医師

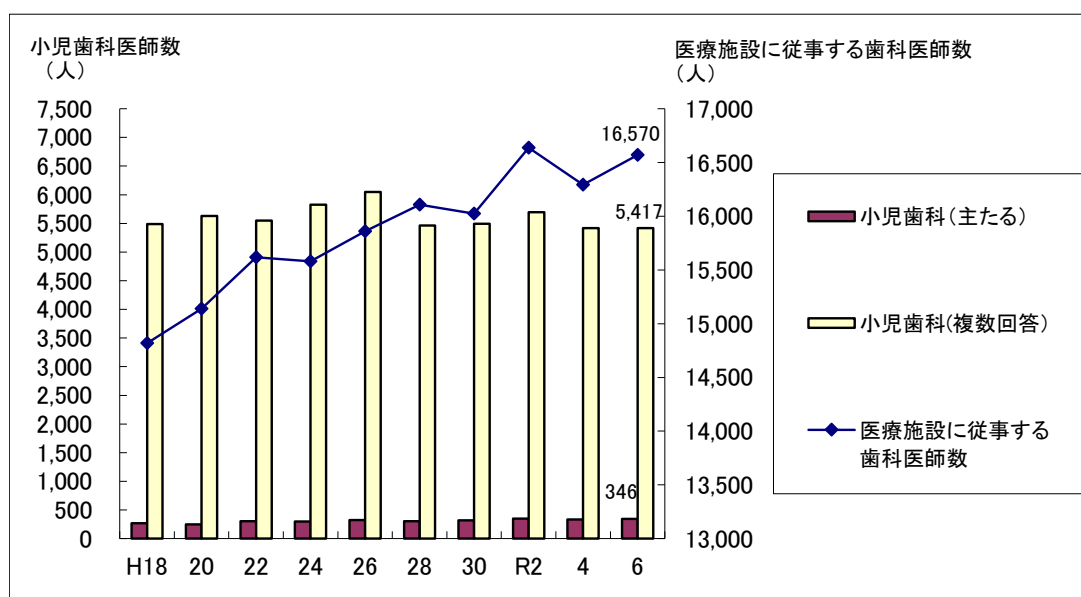
東京都の届出歯科医師数は 17,182 人で、前回より 292 人(1.7%)増加した。このうち、医療施設に従事する歯科医師数は 16,570 人で、前回より 277 人(1.7%)増加した(本文「Ⅱ結果の概要」表5)。

小児歯科医師数(主たる)は 3.6%増加、複数回答では 0.06%減少

主として小児歯科に従事している歯科医師数は 346 人で、前回より 12 人(3.6%)増加した。

また、2つ以上の診療科に従事している場合の重複計上による小児歯科医師数は 5,417 人で、前回より 3 人(0.06%)減少した(図3、本文「結果の概要」表8、表9)。

図3 医療施設に従事する歯科医師数及び小児歯科医師数の年次推移



歯科医師の約8割が診療所の従事者

主に従事している業務の種別に見ると、「診療所の開設者又は法人の代表者」が 7,986 人(歯科医師全体の 46.5%)で最も多く、次いで「診療所の勤務者」が 6,098 人(同 35.5%)であり、「診療所の従事者」は合わせて 14,084 人(同 82.0%)となっている。

一方、「病院の従事者」は 2,486 人(同 14.5%)となっている(本文「Ⅱ結果の概要」表5、表6)。

3 薬剤師

東京都の届出薬剤師数は 55,020 人で、前回より 1,493 人(2.8%)増加した(本文「Ⅱ結果の概要」表 11)。

薬剤師の約5割が薬局の従事者

主に従事している業務の種別にみると、「薬局の勤務者（管理者以外）」が 19,370 人（薬剤師全体の 35.2%）で最も多く、次いで「医薬品製造販売業・製造業（研究・開発、営業、その他）に従事する者」が 11,277 人(同 20.5%)、「医療施設で調剤・病棟業務に従事する者」6,683 人(同 12.1%)の順となっている。

なお、薬局の開設者又は法人の代表者 1,711 人（同 3.1%）と薬局の勤務者 25,130 人（同 45.7%）を合わせた「薬局の従事者」が 26,841 人（同 48.8%）となっている（本文「Ⅱ結果の概要」表 11、表 12）。